

# ドクター + 教えて

## 「尿管結石」について

磐田市立総合病院 泌尿器科 医師 佐藤 亮

今回は「尿管結石」についてお話しします。

尿管結石といえは脇腹や腰の強烈な痛みが有名ですが、吐き気や尿に血が混じるなどの症状が出ることもあります。「石がこすれて傷つくから痛みが出る」と思われがちですが、実際はそうではありません。結石が尿管に詰まると腎臓で作られる尿の流れが遮られるため腎臓にかかる圧力が上昇します。これが痛みの原因となるのです。

因となるのです。

腹部超音波検査やCT、X線写真検査などで結石の大きさが分かります。6mm以下の結石であれば約8割の方が1カ月程度で自然に排出されると言われていますので、痛みを和らげる薬や結石の排出を促す薬を使い、様子を見ます。それでも結石が出ない場合や結石が大きい場合は、次の二つの治療法のいずれかを行うこととなります。

一つ目は体外衝撃波結石破碎術（ESWL）です。これは結石に焦点を合わせ、体外から衝撃波で石を砕く治療法です。日帰りでの治療が可能で痛みも少ないという利点があります。石を砕くだけで、取り除けない場合もあります。また、砕けた石が再び尿管に詰まってしまうことや複数回の治療を要する確率が高いということも理解しておく必要があります。

二つ目は経尿道的腎尿管碎石術（TUL）です。これは尿道から膀胱を経由して、内視鏡観察下において石をレーザーで砕き、そのまま体外へ取り出す手術です。全身麻酔や腰椎麻酔で行う手術なので入院が必要となりますが、一回で治療を終えられる可能性が高いです。尿管結石でお困りの場合は、泌尿器科へご相談ください。

二つ目は経尿道的腎尿管碎石術（TUL）です。これは尿道から膀胱を経由して、内視鏡観察下において石をレーザーで砕き、そのまま体外へ取り出す手術です。全身麻酔や腰椎麻酔で行う手術なので入院が必要となりますが、一回で治療を終えられる可能性が高いです。尿管結石でお困りの場合は、泌尿器科へご相談ください。

## 「MCI」をご存じですか？

磐田市立総合病院 認知症疾患医療センター

保健師（認知症相談員） 森田 洋一

MCI (Mild Cognitive Impairment の略称) という言葉を聞いたことはありますか。MCIとは、認知症とまではいえないも、加齢に伴う物忘れとは異なるグレーゾーンの状態のことです。『軽度認知障害』とも呼ばれています。厚生労働省の調査では、軽度認知障害のある人は約400万人で、65歳以上の人の約13%と推計しています。

なっています。「物忘れが目立つ」「仕事や家事がスムーズにできない」「元気や意欲がない」「普段と違う行動をとることを嫌がる」などの変化がみられた場合は、軽度認知障害を意識してみてください。気になる場合は、かかりつけ医に相談してみましよう。

軽度認知障害が認知症と異なるところは、記憶力の障害などの認知機能の低下があるものの、社会生活や日常生活に支障をきたさないということです。自立した生活を送ることができ、そのため認知症ではないとされていますが、そのままにしていると認知症に移行する可能性もあるので注意が必要です。

### 軽度認知障害の特徴

軽度認知障害が認知症と異なるところは、記憶力の障害などの認知機能の低下があるものの、社会生活や日常生活に支障をきたさないということです。自立した生活を送ることができ、そのため認知症ではないとされていますが、そのままにしていると認知症に移行する可能性もあるので注意が必要です。

・ほかの同年代の人に比べて、もの忘れの程度が強い  
・もの忘れが多いという自覚がある  
・日常生活にはそれほど大きな支障をきたしていない  
・もの忘れがなくても、認知機能の障害（失語・失認・失行・実行機能障害）が1つある

全ての方が認知症になるわけではありませんが、軽度認知障害の時点で異変に気付くことができれば、生活習慣を改めて見直すことで進行を防いだり、発症を遅らせたりすることができるといわれています。

※厚生労働省「知ることからはじめようみんなのメンタルヘルス」から引用  
URL [https://www.mhlw.go.jp/kokoro/known/disease\\_reog.html](https://www.mhlw.go.jp/kokoro/known/disease_reog.html)

軽度認知障害に早く気付くためには、日常生活における変化を家族や周りの人がいかに気付けるかが重要に

### 認知症に関する相談窓口のご案内

平日 午前8時15分～午後5時  
☎ 0538-3712011(代表)  
『認知症相談』とお伝えください。

くらしの  
情報